

各位

2025 年 8 月期の業績予想について

【連結】 (単位：百万円、%)

項目 \ 決算期	2025 年 8 月期 (予想)			2025 年 8 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		2024 年 8 月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売 上 収 益	8,601	100.0	2.4	6,055	100.0	8,403	100.0
営 業 利 益	3,144	36.6	46.2	2,093	34.6	2,151	25.6
(参考) 調整後 EBITDA	3,423	39.8	△3.9	2,301	38.0	3,564	42.4
税引前 (四半期) 利益	2,987	34.7	68.5	1,977	32.7	1,773	21.1
親会社の所有者に帰属 する当期 (四半期) 利益	2,060	24.0	79.6	1,371	22.6	1,147	13.6
基本的 1 株当たり当期 (四 半 期) 利 益	103 円 00 銭			68 円 60 銭		57 円 38 銭	
(参考) 調整後親会社 の所有者に帰属する当 期 (四 半 期) 利 益	2,111	24.5	3.4	1,420	23.5	2,042	24.3
1 株 当 た り 配 当 金	未定			—		19,318 円 00 銭 (96 円 59 銭)	

(注) 1. 当社グループは国際会計基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。

2. 2025年3月11日付で、普通株式1株につき200株の株式分割を行っておりますが、2024年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期（四半期）利益を算出しております。なお、1株当たり配当金については、2024年8月期（実績）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合の数値を参考までに（ ）内記載しております。

3. 2024年8月期（実績）及び2025年8月期第3四半期累計期間（実績）の基本的1株当たり当期（四半期）利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

4. 調整後 EBITDA は、以下により算出しております

調整後 EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋償却費＋減損損失＋上場関連費用等

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。この文書は、米国における証券の募集、購入の勧誘行為の一部をなすものではありません。米国においては、1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録義務からの運用除外を受ける場合を除き、証券の募集又は販売を行うことはできません。また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

5. 上場関連費用等とは、上場審査に係る費用、上場準備に伴う主幹事証券会社等へのアドバイザー費用、目論見書印刷費用等、上場に伴う一時的な費用です。
6. 調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益は、以下により算出しております。
調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益＝親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益＋契約関連資産の償却費＋一時費用（上場関連費用等）－法人所得税調整費用
7. 一時費用（上場関連費用等）とは、上場審査に係る費用、上場準備に伴う主幹事証券会社等へのアドバイザー費用、目論見書印刷費用等、上場に伴う一時的な費用、及び、防衛特別法人税の創設に伴う税効果会計への一時的な影響額です。
8. 契約関連資産の償却費は、株式会社オーバーラップの連結子会社化手続きの過程で計上された無形資産の償却費であり、2024年8月期中に償却が完了しております。

【2025年8月期業績予想の前提条件】

1. 当社グループの見通し

当社グループは、「出版・映像・音楽・ゲーム・グッズなどあらゆるメディアと才能を結集し、新しい時代の総合エンターテインメントパブリッシャーを目指す」という経営ビジョンのもと、クリエイターの才能の発掘を通じてIPの創出を促進し、書籍出版やアニメ化など多様な作品の展開を行うことで、業界や国境を越える事業拡大を推進してまいりました。ライトノベル・コミックスをはじめとしたコンテンツIPを創出し、保有するIPを基軸として、メディアミックス展開や海外へのライセンスなどを含むIP価値最大化に取り組んでおります。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内出版市場においては紙の商材が継続的に縮小を続けている一方で、電子商材（特に電子マンガ）は近年大幅に拡大しております。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2024年（1月から12月まで）の紙と電子を合算した推定販売金額は前年比1.5%減の1兆5,716億円となり、その内訳は、紙の出版物については同5.2%減の1兆56億円、電子出版については同5.8%増の5,660億円となっております。また、マンガ・アニメ等をはじめとする日本発のコンテンツIPは、海外においても近年人気が高まっており、今後も拡大が続いていくものと見込んでおります。

このような環境の中、当社グループにおいては、編集を中心としたコンテンツ創出を支える体制の更なる拡充に加え、当社が保有するIPのアニメ化などをはじめとするメディアミックス展開の取り組みについても強化していく方針であります。今後も新規IPの創出と、保有する既存IP価値の維持向上への取り組みを加速させることにより、企業価値の向上に努め、着実な売上成長を図ってまいります。

また、事業にかかる利益構造に大幅な変動は生じないことを想定しておりますが、過年度における資本構成の変更後、2024年8月期以前において一時的に発生していた費用（主に無形資産の償却費等）が、2025年8月期以降は発生しなくなることも影響し、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益ともに大幅な増益となることを見込んでおります。

これらの結果として、2025年8月期の業績見通しにつきましては、売上収益8,601百万円（前期比2.4%増）、営業利益3,144百万円（前期比46.2%増）、税引前利益2,987百万円（前期比68.5%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は2,060百万円（前期比79.6%増）としております。

なお、2025年8月期の業績見通しにつきましては、6月までは実績値、7月以降は発売予定タイトルの販売見通し等を勘案した予測値に基づき作成しております。また、当社グループの事業はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメント別の開示は省略しております。

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。この文書は、米国における証券の募集、購入の勧誘行為の一部をなすものではありません。米国においては、1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録義務からの運用除外を受ける場合を除き、証券の募集又は販売を行うことはできません。また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上収益

当社グループの売上収益は、ソーシングや価値向上に主体的に取り組む自社 IP から生み出される、マンガ・ライトノベル・アニメ等の「自社 IP 売上」と、ポケモンのゲーム攻略本等の書籍やサウンドトラックなどにかかる「他社 IP 売上」によって構成されております。

当社グループとしてはこのうち、売上収益の大部分を占めている「自社 IP 売上」の源泉となる、長期にわたって収益貢献を続けることが期待される主力 IP（年間売上高 25 百万円超の IP）を増加させることを成長ドライバーと位置付けており、2025 年 8 月期においても新規 IP の創出と保有する既存 IP 価値の維持向上の取り組みによって、売上収益は 8,511 百万円（前期比 7.5%増）を見込んでおります。

一方で、「他社 IP 売上」については、今後も継続して商材の発売を行っていく方針であるものの、関連するゲームソフト等のリリース時期等によって変動が生じ、2025 年 8 月期については新商品の発売を見込んでいないことから、売上収益は 90 百万円（前期比 91.5%減）を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

当社グループの売上原価は、クリエイターに対するロイヤルティやマンガの原稿料、編集者の人件費、紙書籍の印刷費、コンテンツ資産の償却費等によって構成されております。

2025 年 8 月期は、売上高の増加に伴うクリエイターに対するロイヤルティの増加に加え、マンガの作品数増加に向けた、原稿料や編集者数を積極的に増加させているほか、アニメ化作品増加に伴うコンテンツ資産の償却費増加等が生じることにより、売上原価は 3,980 百万円（前期比 13.3%増）を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

当社グループの販売費及び一般管理費は、主に当社の編集者以外の役職員に関連する従業員給付費用、広告宣伝費及び販売促進費、減価償却費及び償却費によって構成されております。

2025 年 8 月期は、契約関連資産の償却が前期に完了していることによる影響（前期における契約関連資産の償却額は 1,249 百万円）で、減価償却費及び償却費が大幅に減少することにより、販売費及び一般管理費は 1,478 百万円（前期比 46.0%減）を見込んでおります。

(4) 金融収益及び費用、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益

2025 年 8 月期は、金融収益を見込んでおらず、金融費用について、主に借入金に係る支払利息の計上を見込んでおります。また、2024 年 8 月期においては、リファイナンス（借換え）に伴う費用が発生しました。

以上の結果、金融費用は 157 百万円（前期比 58.5%減）、税引前利益は 2,987 百万円（前期比 68.5%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は 2,060 百万円（前期比 79.6%増）を見込んでおります。

3. 現在までの進捗状況

2025 年 8 月期第 3 四半期累計期間において、売上収益は 6,055 百万円（通期業績予想に対する進捗率は 70.4%）、売上原価は 2,863 百万円（通期業績予想に対する進捗率は 71.9%）、販売費及び一般管理費は 1,098 百万円（通期業績予想に対する進捗率は 74.3%）となっております。

当社グループの売上収益は、主力 IP に関連するマンガの続巻の発売時期や、当社作品を原作とするアニメの放映時期によって主に変動しますが、2025 年 8 月期は主力 IP に関連するマンガの続巻発売を第

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。この文書は、米国における証券の募集、購入の勧誘行為の一部をなすものではありません。米国においては、1933 年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録義務からの運用除外を受ける場合を除き、証券の募集又は販売を行うことはできません。また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

4 四半期に多くに予定していることを主な要因として、上記のような進捗率となっております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。この文書は、米国における証券の募集、購入の勧誘行為の一部をなすものではありません。米国においては、1933 年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録義務からの運用除外を受ける場合を除き、証券の募集又は販売を行うことはできません。また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。